



明君享保録

五

~ 13
3303
5



門八三
3303
卷 5

池清

以衣多後海老

貝原

有任之心海老

以衣多後海老

貝原

大正八年八月九日
本大學出版部
贈

此名多係源也

有陸之門係也

高保元年

五月

於軍之下

西

崇

心

中備の元々池ののち先考の
著書一選

一巻の
師範

一巻の
師範

師範
師範
師範

一巻の
師範

師範
師範

師範
師範

師範
師範

古唐のりくく...
有るくく...
那 日や服海り...
弟 生みのか...
學者...
古...
那 行...
古...
那 行...

古唐のりくく...
有るくく...
那 日や服海り...
弟 生みのか...
學者...
古...
那 行...
古...
那 行...

三
善きしちあまのこしちたつてつるも
きり
善殿に候

りらひのらつてつるも
石のしるべ
又殿に候
の
右きまに候

あまのこしちたつてつるも
あまのこしちたつてつるも

いひのち
こまのきり

あまのこしちたつてつるも
あまのこしちたつてつるも

あまのこしちたつてつるも
あまのこしちたつてつるも

あまのこしちたつてつるも
あまのこしちたつてつるも

あまのこしちたつてつるも
あまのこしちたつてつるも

伊持下りて
敬喜あり
物し
人
年
信
か
上
か

相又老幼
長
大
い
如
と
先
と
先
先

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

りかむゝあゝいひさるし事し行しいゝ終ひ
 せししとつはるをははらせし出しては成りん
 めのとしん山の邊にはらねらしむ
 りはらねらしまはりしるしゆん
 くしとしとしとしとしとしとしとし
 ちはらねらしはらねらしむ
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 せしとしとしとしとしとしとしとし
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん

りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん
 りはらねらしまはりしるしゆん



一、水とてみなりてしるべ

とくしるべしとてしるべしとてしるべし

悟れまうる 此の如くは世にあり

わづらひてしるべしとてしるべし

とくしるべしとてしるべしとてしるべし

わづらひてしるべしとてしるべし

とくしるべしとてしるべしとてしるべし

わづらひてしるべしとてしるべし

法をいしむとてしるべし

とくしるべしとてしるべし

この如くは世にあり

わづらひてしるべしとてしるべし

とくしるべしとてしるべし

法をいしむとてしるべし

とくしるべしとてしるべし

わづらひてしるべしとてしるべし

情のこころのつゆり

大おほい敬うやまつ者もの一ひと何なにれ

久ひさ由よし如ごとき入い作し道みち戒かい北きたさ

人ひとの影かげ入い人ひとの影かげ入い

けしけしあはれ平ひら子ここ

去さるる存ぞん心しん附つけ

昔むかしもも存ぞん心しん附つけ

昔むかしもも存ぞん心しん附つけ

去さるる存ぞん心しん附つけ

去さるる存ぞん心しん附つけ

去さるる存ぞん心しん附つけ

去さるる存ぞん心しん附つけ

和わ一ひと也なり

和わ一ひと也なり

世よの世よの世よ

世よの世よの世よ

自^ら一^つ書^きの^り式^しに^て後^の新^しに^て
宗^の神^を申^すに^ては^らく^るに^ては^らく^る
ん^にて^はく^るに^ては^らく^るに^ては^らく^る
尉^の里^をと^りて^はく^るに^ては^らく^る
之^の日^に古^の用^を之^に依^りて^はく^るに^ては^らく^る
之^の入^り折^りに^ては^らく^るに^ては^らく^る
ら^の所^を所^を所^を所^を所^を所^を
元^の日^にや^りて^はく^るに^ては^らく^る

と^は後^の水^を取^りて^はく^るに^ては^らく^る
有^りて^はく^るに^ては^らく^るに^ては^らく^る
古^の南^を南^を南^を南^を南^を
之^の日^に古^の用^を之^に依^りて^はく^るに^ては^らく^る
上^の之^の日^に古^の用^を之^に依^りて^はく^るに^ては^らく^る
之^の日^に古^の用^を之^に依^りて^はく^るに^ては^らく^る
之^の日^に古^の用^を之^に依^りて^はく^るに^ては^らく^る
之^の日^に古^の用^を之^に依^りて^はく^るに^ては^らく^る

かみ

不承と云ふ事

心算

角を極小に

伊中氏

伊中氏

伊中氏

伊中氏

伊中氏

伊中氏



伊中氏

